



2022年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年7月14日

上場会社名 株式会社 魚喜
コード番号 2683 URL <http://www.uoki.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大庭 美和

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 尾崎 勝弘

TEL 0466-45-9282

四半期報告書提出予定日 2021年7月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年2月期第1四半期の連結業績(2021年3月1日～2021年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年2月期第1四半期	2,728	10.2	105	428.1	129	382.2	93	634.8
2021年2月期第1四半期	2,475	16.3	20	18.5	26	7.5	12	10.5

(注) 包括利益 2022年2月期第1四半期 90百万円 (470.8%) 2021年2月期第1四半期 15百万円 (42.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年2月期第1四半期	36.48	
2021年2月期第1四半期	4.96	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年2月期第1四半期	2,205	707	32.1	276.89
2021年2月期	2,541	641	25.3	251.33

(参考) 自己資本 2022年2月期第1四半期 707百万円 2021年2月期 641百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年2月期		0.00		10.00	10.00
2022年2月期					
2022年2月期(予想)		0.00		5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年2月期の連結業績予想(2021年3月1日～2022年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,400	4.6	50	17.4	50	24.5	30	35.7	11.75
通期	11,200	3.5	170	17.9	160	28.2	110	44.9	43.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年2月期1Q	2,555,856 株	2021年2月期	2,555,856 株
期末自己株式数	2022年2月期1Q	2,172 株	2021年2月期	2,172 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年2月期1Q	2,553,684 株	2021年2月期1Q	2,553,684 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第1四半期連結累計期間（2021年3月1日から2021年5月31日まで）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する緊急事態宣言が3月に解除されたものの、変異株の発生により4月下旬には感染者数が再上昇に転じ、大都市圏を中心に緊急事態宣言の再発出やまん延防止等重点措置が実施されました。高齢者を中心にワクチン接種が徐々に進むなどの明るい兆しが見られるものの、しばらくは経済活動と感染拡大抑制のバランスを取りながらの情勢が続くと予想され、依然として先行きは不透明であります。

当社グループが事業の主体をおく水産小売業界においては、乱獲による水産資源の枯渇や異常気象による漁獲量の減少に加えて、魚介類消費量がアジアを中心として世界的に増加傾向にあり、魚介類の仕入価格は依然として上昇傾向にあります。国内消費につきましては、コロナ禍において商業施設の休業、営業時間短縮もありましたが、外出自粛要請による巣ごもり消費の増加も見られました。

このような環境下、当社グループでは、引き続きコロナ禍における感染症対策を徹底し、お客様に安心してお買い物ができる環境を整えた店舗運営、ローコストオペレーションの実施、労働生産性の向上を図り、品切れや廃棄によるロスを無くし、収益構造の改善に取り組んでまいりました。

また、当期においては地元食材を活かした新たな飲食事業として仕立屋鎌倉店と仕立屋二俣川店の2店舗を出店し、アフターコロナにおいては当社グループの収益基盤の拡大に寄与するものと考えて、更なるサービスの強化に努めてまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社の売上高は、27億28百万円（前年同四半期比10.2%増）、売上総利益は12億8百万円（前年同四半期比11.9%増）、営業利益は1億5百万円（前年同四半期比428.1%増）、経常利益は1億29百万円（前年同四半期比382.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は93百万円（前年同四半期比634.8%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

（鮮魚事業）

鮮魚事業の売上高は、24億42百万円（前年同四半期比8.9%増）となり、セグメント利益は、1億88万円（前年同四半期比30.4%増）となりました。

（飲食事業）

飲食事業の売上高は、1億84百万円（前年同四半期比43.8%増）となり、セグメント利益は、13百万円（前年同四半期はセグメント損失21百万円）となりました。

（不動産事業）

不動産事業の売上高は、1億12百万円（前年同四半期比2.9%減）となり、セグメント利益は、7百万円（前年同四半期比43.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて3億35百万円減少し、22億5百万円となりました。このうち、流動資産は前連結会計年度末に比べ2億95百万円減少して15億19百万円となり、また、固定資産は前連結会計年度末に比べ39百万円減少して6億85百万円となりました。

（負債）

負債の総額は、前連結会計年度末に比べ4億1百万円減少し、14億98百万円となりました。このうち、流動負債は前連結会計年度末に比べ3億61百万円減少して11億44百万円となり、また、固定負債は前連結会計年度末に比べ39百万円減少して3億54百万円となりました。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べ65百万円増加し、7億7百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年4月14日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	940,930	724,332
売掛金	567,101	505,199
商品	122,109	125,974
貯蔵品	13,048	11,988
その他	172,479	152,199
流動資産合計	1,815,669	1,519,694
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	481,568	483,740
減価償却累計額	△390,780	△394,776
建物及び構築物(純額)	90,787	88,963
工具、器具及び備品	735,893	737,362
減価償却累計額	△624,452	△624,687
工具、器具及び備品(純額)	111,440	112,674
土地	389	389
有形固定資産合計	202,617	202,028
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	75,317	71,768
敷金及び保証金	317,623	317,583
繰延税金資産	43,101	13,780
その他	35,079	33,793
投資その他の資産合計	471,122	436,926
固定資産合計	725,695	685,759
資産合計	2,541,365	2,205,454

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2021年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	677,250	410,350
短期借入金	150,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	177,136	158,802
未払金	267,093	230,569
未払法人税等	790	2,367
未払配当金	—	1,702
賞与引当金	18,987	681
その他	214,768	189,708
流動負債合計	1,506,026	1,144,180
固定負債		
長期借入金	249,773	218,817
長期預り保証金	88,761	80,394
関係会社支援損失引当金	17,300	17,300
資産除去債務	37,678	37,678
固定負債合計	393,512	354,190
負債合計	1,899,538	1,498,371
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	246,063	246,063
利益剰余金	287,206	354,821
自己株式	△5,634	△5,634
株主資本合計	627,636	695,251
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,189	11,832
その他の包括利益累計額合計	14,189	11,832
純資産合計	641,826	707,083
負債純資産合計	2,541,365	2,205,454

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
売上高	2,475,576	2,728,001
売上原価	1,396,002	1,519,809
売上総利益	1,079,574	1,208,191
販売費及び一般管理費	1,059,536	1,102,369
営業利益	20,038	105,822
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	1,395	1,495
受取手数料	9	348
受取補償金	5,942	—
受取協力金	—	17,460
その他	766	4,785
営業外収益合計	8,116	24,090
営業外費用		
支払利息	1,388	889
その他	9	—
営業外費用合計	1,398	889
経常利益	26,756	129,023
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	49	33
特別損失合計	49	33
税金等調整前四半期純利益	26,707	128,989
法人税、住民税及び事業税	7,405	5,325
法人税等調整額	6,624	30,512
法人税等合計	14,029	35,837
四半期純利益	12,677	93,151
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,677	93,151

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年3月1日 至 2021年5月31日)
四半期純利益	12,677	93,151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,227	△2,357
その他の包括利益合計	3,227	△2,357
四半期包括利益	15,905	90,793
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,905	90,793
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症による影響の仮定について重要な変更を行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鮮魚事業	飲食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,243,142	128,033	104,400	2,475,576	—	2,475,576
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	11,004	11,004	△11,004	—
計	2,243,142	128,033	115,405	2,486,581	△11,004	2,475,576
セグメント利益又は損失(△)	144,587	△21,126	13,182	136,643	△116,604	20,038

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△116,604千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△107,668千円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2021年3月1日至2021年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鮮魚事業	飲食事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,442,170	184,048	101,782	2,728,001	—	2,728,001
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	10,282	10,282	△10,282	—
計	2,442,170	184,048	112,065	2,738,283	△10,282	2,728,001
セグメント利益	188,579	13,305	7,512	209,396	△103,574	105,822

(注) 1. セグメント利益の調整額△103,574千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△104,288千円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。